

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 佐渡市立相川小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒952-1582

新潟県佐渡市相川下戸村1-1

E-mail aikawa-es@sado.ed.jp

Website <http://aikawa-es.sado.ed.jp>

幼児児童生徒数 男子 66 名 女子 56 名 合計 122 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「仁・知・勇」を学校理念として、ESDを持続可能な価値ある教育的活動と捉え、ESDの実践を通して体系的な思考力やコミュニケーション能力の育成を目標とした。

具体的には、環境、世界遺産、地域の文化を柱に、①環境に係わる活動、②国際理解に係わる教育、③地域の伝統文化に係わる学習、④世界遺産に係わる学習を行った。

### ① 環境に係わる活動 (相川クリーン作戦)

縦割り班を活用し、異年齢集団による、地域のゴミ拾い活動を行った。6月は、金山周辺及び相川町内を、10月は、海岸方面のゴミ拾いを行った。(夏休みは各家庭で家の近くを行った。)6月と10月の時には、高学年中心の縦割り班で、協力してゴミを拾い、学校に帰ってから分別して処分した。その後、感想を発表し合い、世界遺産登録候補地の環境美化のため、頑張ろうという気持ちを高めた。

## ② 国際理解に係わる教育

国際理解教育の活動として3～6年生が外国語活動を通年でい、ALTとの出会いを通して、外国人や外国の文化等に触れることで、外国への興味や関心を高めている。10月にはハロウィーンの日にはALTが仮装をして全校児童と触れ合い、外国の文化について理解を図っている。

## ③ 地域の伝統文化に係わる学習「相川学」(総合的な学習の時間)

3年は「めざせ！相川3大祭りマスター」の単元で、相川の祭りのすばらしさを発見していた。囃子や踊りを多くの人に披露した。4年は「やわらぎを伝えよう」の単元で、相川に伝わる神事「やわらぎ」を学んだ。文化祭や市芸能祭で発表し、多くの人に披露した。5年は「唄い、奏で、踊ろう！佐渡おけさ」の単元で、歌と楽器演奏と踊りを習い、伝統文化を引き継ぎたいとの気持ちを高め、多くの方々の前で発表した。6年は「ぼくらが伝える黄金伝説」の単元で、佐渡金山や相川の町並みについて学習し、佐渡金山で、金山ガイドとして修学旅行生や一般のお客さんの前で、自分が学んだことを紹介した。

## ④ 世界遺産に係わる学習

毎年、年度当初に世界遺産推進課の方を講師に招き、全校児童が佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて学習会を行っている。子どもたちは、佐渡金銀山に係る歴史について学んだり、世界遺産推進に向けての様々な活動について真剣に話しを聞いている。この学習会を機に、各学年に応じて生活科や総合的な学習の時間等を活用して、さらに佐渡金銀山や世界遺産登録に向けての学習や活動を進めている。



① の写真 (クリーン作戦)



② の写真 (ハロウィーン)



③ の写真 (佐渡おけさ)



④ の写真 (金銀山学習会)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクール全体計画を作成し、年間をとおして継続的な活動ができるように各教科、総合的な学習の時間等の指導計画に位置付けている。指導内容については、年度末に見直しを行い、改善を図っている。教材や資料等については、担当が変わっても活動が継続できるように保存と引継が確実にできるようにしている。また、指導方法についても学期末の反省で各学年間の情報交換を行い工夫改善を図っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校全体で取組が図られるように、年度当初に全職員で教育計画等を活用して、共通理解が図られるようにしている。また、各学年の活動が継続的に行えるよう人材リストの整備や外部講師との連絡調整を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学期末に職員・児童・保護者及び学校関係者から活動の評価を行ってもらっている。その結果児童が意欲的に学んだ事を家庭や地域で発信することができるようになってきている。また、学校の活動に対して保護者や地域とさらに連携を進めていくかが課題となっている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

6年生の佐渡金銀山学習について児童の活動をまとめたものを、世界遺産推進課に報告している。また、児童の活動の様子を新聞やテレビ等のメディアに取り上げられ、紹介してもらうことで取組が内外に広がっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

活動がスムーズにできるように世界遺産推進課や佐渡学センター等と連携しながら取組を進めている。また、地域の世界遺産に向けて活動している団体との連携も図っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

他のユネスコスクールとの交流や連携は今後の取組の課題である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

児童が、毎年継続的に環境美化活動を行っていることが佐渡金銀山の世界遺産推進に向けての地域の気運を高めることにつながってきている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

<環境教育>

- 相川クリーン作戦  
年間2回縦割り班による地域のゴミ拾い活動
- 相川小ゴミ拾い運動  
毎週火曜日の登校時におけるゴミ拾い活動

<国際理解教育>

- 外国語活動（3・4・5・6年生）
- ALTとの交流活動（1～4年生）

<世界遺産や地域の文化財に関する教育>

- はつらつタイム（総合的な学習の時間）の充実
  - ・ 3年「相川3大祭りマスター」
  - ・ 4年「やわらぎを伝えよう」
  - ・ 5年「唄い、奏で、踊ろう！ 佐渡おけさ」
  - ・ 6年「僕らが伝える黄金伝説」